

平成 26 年 9 月 29 日

授業の進め方

1. チーム編成

2名～5名で1つのチームを作り、①租税と財政の役割と課題、②金融・金利・物価・為替に関する政策、③規制の役割と課題の3回に分けて、調べ、発表を行う。

チームは①、②、③でメンバーを入れ替える。(②、③では、できるだけ同じチームになっていない人通しで組む。)

できるだけ、同じテーマで発表したい人通しで組んだ方が、テーマの調整に時間を要さず、作業に入ることができる。テーマの調整ができれば、他学部とチームを組むことも可。

2. 資料作成・準備

グループで3分野(①租税と財政の役割と課題、②金融・金利・物価・為替に関する政策、③規制の役割と課題)について、調べ、発表を行う。

発表日は、相互に質問を行い、学生必携 PC と長大 Wi-Fi を利用し LACS によりコメントを書きこみを行う。

授業時間などを利用して、各自の用意するノートパソコンと長大 Wi-Fi などから LACS にアクセスし、作成した資料を掲示版を用いて情報交換する。(LACS の掲示版に投稿した資料により、各人の貢献を判断する。)

欠席は貢献度のマイナス評価となるので、教室に来た際には必ず出席管理システムへの登録を行う。

資料作成は、パワーポイントで行い、完成したファイルを LACS の掲示版に投稿する。

3. 発表

発表日は各チームを各プロジェクターに割振り、順番に発表。自分達の発表の時間の他に他のチームの発表を見て回り、質問し、内容がよいと思うチーム2つのスレッドに返信の感想・コメントを書きこむ。(コメントの多いチームが高得点。1つ以上は自分達を異なる分野に書きこむ。)

プロジェクターに接続する PC は、各チームで準備する。

発表日は、自分達のテーマとできるだけ違う(他学部の学生中心などのチーム)発表を中心に、コメントを行う。→自分達を違うバックグラウンドを持つ人に関心を持って理解してもらえよう工夫する。関心を持ってもらうための、演出や小道具の使用も可。

4. レポート

最後に、自分が調査・発表に際して貢献したこと、学んだことなどをレポートにまとめ、LACS で提出する。(様式は LACS に掲載する。)